

## 2020年度 会員研修室 会員研修委員会 方針 (案)

委員長／長崎 敏行 副委員長／安田 洲悟 委員会幹事／島津 悠  
 委員／太田 智久 河村 賢治 国立 朋裕 佐藤 幸信 武井 華澄  
 前田 剛臣 若松 佳

委員長 長崎敏行

1 函館青年会議所は、仲間と苦楽をともにしながら活動を通じて互いを高めあい、地域の  
 2 発展に向け能動的な活動に邁進してきました。我々がこれから先も地域の発展を担い永続  
 3 的に活動していく上で、70周年という節目を迎える今こそ改めて原点に立ち戻り、個々  
 4 の能力向上と、団結力からなる組織力強化につなげ、これから先もより活発な運動を行う  
 5 機運を高める必要があります。

6 まずは、新入会員が青年会議所活動を共に取り組んでいくために、与えられた課題に対  
 7 して制限時間内に自分なりの考えを発信する機会を設け、その発言に耳を傾け多種多様な  
 8 個性があることを共有し、興味や共感を生むことで、これからの交流を深めるきっかけを  
 9 創出します。そして、メンバーが足並みを揃えて力強い活動を展開していくために、青年  
 10 会議所の基礎知識や今後の具体的な活動内容を学ぶ場を設け、理解を深めてもらい、互い  
 11 に向上する気概を持ってもらうことで、JAYCEEとしての意識改革と活動意欲を高め  
 12 ます。さらに、組織力の向上のために、新入会員が協働する取り組みを行うことで連帯感  
 13 が生まれ、共通の目標に向かい多くのメンバーとともに様々な意見を出し合い模索するこ  
 14 とで、一致団結して成し遂げることから生まれる充実感や達成感を共有し、結束力を高め  
 15 ます。また、メンバーそれぞれが次のステージで活躍していくために、卒業生の門出を盛  
 16 大に祝い感謝を伝え、青年会議所活動で学び得たことを卒業生に振り返ってもらうととも  
 17 に、それぞれの想いを共有しつつ知識や経験を継承することで、これからの行動意欲につ  
 18 なげていきます。

19 メンバー同士が活動を通じて互いに磨きあうことでそれぞれの能力が向上し、一致団結  
 20 することで組織力強化を遂げた我々は、地域発展に向けた能動的な活動を担い続け、地域  
 21 にとって必要とされ続ける団体へととなります。

22

### 23 事業計画

- 24 1. 3分間スピーチの運営
- 25 2. 新入会員オリエンテーション
- 26 3. 5月例会スポーツ大会
- 27 4. 12月例会卒業式
- 28 5. 新入会員拡大
- 29 6. 各委員会及び出向者への協力
- 30 7. 各種大会・会議への参加

31

### 32 [年間事業フレーム](#)

33